

日本学術会議  
東日本大震災に係る学術調査検討委員会（第23期・第4回）  
議事要旨

日 時：平成27年7月23日（木） 10：00～12：00  
場 所：日本学術会議5階 5-C（1）会議室  
出席者：岩澤委員長、福田副委員長、目黒幹事、岡田委員、佐藤委員、廣瀬委員、渡部委員、和田委員、矢川委員 9名  
欠席者：山川幹事、向井委員、山下委員、山本委員、大久保委員 5名  
事務局：盛田参事官、松宮補佐、熊谷専門職付、辻上席学術調査員、白村学術調査員  
配布資料：資料1 前回議事要旨（案）  
資料2 東日本大震災学術研究調査アンケート（第1次案）（佐藤委員）  
参考1 委員名簿  
参考2 今後の日程について  
机上配布 会員・連携会員数集計

議事：

1) 前回議事要旨（案）の確認

資料1に基づいて、前回議事要旨（案）が確認され、了承された。

2) アンケート調査項目の検討

資料2に基づいて、佐藤委員より、全体の構成、各質問項目等に関する説明が行われた。

引き続き、意見交換が行われ次のような方針でアンケート構成・質問項目の調整等を行うこととなった。

■調査リード文

- ・調査リード文もしくは、依頼状に、本アンケートの目的、前回のアンケートに関するメンション等を記載する。アンケートの目的については岩澤委員長が原案を作成する。
- ・注2「研究者が主体的に実施した」については、この文言により回答の対象を制限する必要はないと判断し、この注2を削除する。
- ・注3の調査及び研究活動の内容には、測定、分析、実験、解析、シミュレーションなどを記載する。

■問2

- ・別案を採用し、特任連携会員を追記する。

■問5

- ・「実施主体の名称」がわかりにくいのでサンプル（〇〇研究室、〇〇学会など）を記載する。

■問7

- ・文字数は1000字だと多いので、300字程度にする。
- ・付問1は削除する。
- ・特に、「目的」等についての自由記述の欄を設ける。

#### ■問8

- ・問8はこのアンケートの主題のひとつである。どのような学術分野・調査対象で調査が行われたのか明らかにするためのものであり、それぞれどの程度行われたのか集計するほかに、学術分野・調査対象同士の相関関係を見ることができる。学術分野・領域(〇〇学)に関わらず、回答の集まった調査対象・テーマなどについて明らかにすることも意味がある。
- ・学術分野・領域(〇〇学)と、調査対象・テーマ関心が混在しているものは、整理して示す。
- ・「農林・水資源調査」と「水産・農学・畜産学」では重複しているので適宜調整する。
- ・教育に関することが原案では抜けている(科学教育のみ存在する)。
- ・選択肢の数は、一覧した際に回答者に圧迫感を与えない程度の数にする。

#### ■問9

- ・選択肢を工夫する。例えば、政策・施策への反映、国際情報発信、被災者への情報発信、被災者支援、防災減災への国際貢献、純粋な学術研究などか。
- ・具体的には、原案において、「3.被災者の支援」が意味することが不明瞭、「5.国際機関や海外の大学等との共同事業」については質が異なり目的として適切かどうか、と言った課題がある。

#### ■問10

- ・付問は削除する。

#### ■問11

- ・地域については、実施地域をたずねる。
- ・複数の地域の場合でも回答しやすいようにする。
- ・よりジェネラル(例えば、津波による原子力発電の影響を見る研究など)なものでも回答できるようにする。

#### ■問13

- ・「全体を通じたおよその数でお答え下さい」のように、大体の値を記載してもらう。
- ・「約」を入れる。

#### ■問14

- ・総額だけで、内訳はなしとする。
- ・記載は、「〇億〇万円」とする。

#### ■問21

- ・問21は、実際に東日本大震災にかかる調査・研究を行った立場としての意見を記載し

てもらう。

・問7と問21が特に重要な質問である。このため両者の位置については検討する。例えば、問21については、もっとブレイクダウンし、今よりも前の位置に持ってくることもありうる。

#### ■その他

・回答は、会員か非会員でプロジェクトに詳しい人のいずれかの場合は、非会員であってもプロジェクトに詳しい人に記載してもらう。

・問4以降、特定のプロジェクトを念頭に置いて回答をしてもらう部分について、複数のプロジェクトにかかわっている場合はどうするか。メインのものについて書いてもらえばよいか（1つ）。

・記載しにくいところ（例えば問14の資金面など）は、回答しなくても良い旨どこかに追記する。

・問16付問4の内容（報告書、提言書、データベース等の書誌情報）は、どこか（国会図書館等）にまとめて掲載することができれば、回答者にとっても良い。

#### 3) 今後の進め方と日程について

次回委員会（第5回）は、9月11日（金）10：00～12：00に行うこととした。

その際には、アンケートの最終案の検討を行う。それにあたり、第5回委員会の前に、8月下旬を目途として、あらかじめ佐藤委員を中心としてワーキンググループ等で作業した案をメールにて共有することとした。

なお、調査の実施は、10月以降に行い、12月に回収することを目途とした。調査の実施に当たっては、内閣府共通意見等登録システム（Nopi）を用いる方向で調整することとした。

以上